



## フィジカルAIが変える、未来の暮らし。

— 「Challenge ATOM」 始動 —

Google.orgの支援による新しい学生向けフィジカルAIコンテスト「Challenge ATOM」がスタートしました。全国の学生チームの募集を開始しています。

AIは「脳」から「身体」へ。  
次なる潮流「フィジカルAI」の実装に挑む、  
新コンテスト「Challenge ATOM」始動。



〈主催〉

公益財団法人長寿科学振興財団

〈企画・制作〉

株式会社NHKエンタープライズ

with support from

Google.org

### Challenge ATOMとは

Google.orgの支援のもと、フィジカルAIに特化したプロジェクト「Challenge ATOM」が始動しました

かつて日本が技術大国へ駆け上がる時代に、人々の夢を背負って飛んだヒーローがいました。『鉄腕アトム』です。アトムは単なる機械ではなく、技術が人に寄り添う未来を示してくれる「希望」の象徴でした。

時代は流れ、現在私たちは少子高齢化という未曾有の課題に直面しています。しかし、この困難な局面こそが次なる進化の舞台です。今こそアトムが体現した「自由な夢と、それを叶える圧倒的な技術力」の精神を受け継ぐ時ではないでしょうか。

求めるのは、新たな社会を描く「構想力」と、その夢を技術で形にする「実装力」を兼ね備えた若き才能です。Challenge ATOMは未来を「想像する」だけで終わらない、自らの手で未来を「動かす」プロジェクトです。

Challenge ATOMでは「人生100年時代を切り拓くフィジカルAI」をテーマに、採択チームには最大100万円のプロトタイプ開発助成が提供されます。また、開発期間中は第一線で活躍する研究者・技術者による伴走支援が予定されています。

## Google.orgの支援でフィジカルAIの実装を後押し

Challenge ATOMでは「人生100年時代を切り拓くフィジカルAI」をテーマに、学生チームの開発を支援します。採択チームには最大100万円のプロトタイプ開発助成が提供されます。

また、開発期間中は第一線で活躍する研究者・技術者による伴走支援が予定されています。

エントリーは2026年2月から6月末まで受け付け、開発期間を経て、12月21日～23日に渋谷ストリームホールにてFINALステージ（プレゼンテーションと作品のデモンストレーション）を開催予定です。

公式サイト：<https://www.c-atom.tech>

## 応募条件

対象者：日本国内の高専（専攻科含む）、大学、大学院（修士・博士前期）、大学校に在籍する学生（博士後期課程を除く）。年齢・性別・国籍は問いません（日本語でのコミュニケーションが可能な方）

チーム編成：1名からエントリー可能（人数の上限なし、他校との合同チームやメンバーの重複も可）

指導教員・メンター：チームに指導教員1名を置くこと（メンター兼任可）  
メンターの確保が困難な場合は事務局への相談が可能で、エントリーシートを通じて必要な知識・技術に関する支援を要請できます。

エントリー：<https://www.c-atom.tech/contact-8>

## スケジュール

2月20日（金）	エントリー開始
6月30日（火）	エントリーシート締切
7月後半	第1次選考（書類選考、場合によっては面接選考も実施）結果通知
11月	第2次選考（面接選考）結果発表、ファイナリスト決定
12月21日（月）～23日（水）	FINALステージ 〈会場〉渋谷ストリームホール

※ 期間中は、特別セミナーやフィジカルAI講座、プレゼンテーション支援などの充実したサポートを予定しています。

## 関係者コメント

Google DeepMind  
プリンシパルサイエンティスト・東京拠点リード  
全 炳河（Heiga Zen）氏

「技術は、コードや設計図を超えて現実の社会で動き出した瞬間に、「本物の未来」へと変わります。テクノロジーが急速に進化する今、AIを現実空間に実装するフィジカルAIへの挑戦は、まさに次なるフロンティアです。Challenge ATOMを通じて、学生の皆さんが失敗を恐れず未知の領域へ飛び込み、社会を動かす圧倒的な実装力を発揮してくれることを楽しみにしています。」

手塚プロダクション取締役／ヴィジュアルリスト  
手塚真 氏

「かつて『鉄腕アトム』は、人間とテクノロジーを理想的に結びつけました。その世界観に魅了された子供たちがアトムの未来を夢見て、いまの世界を築きました。いつの時代も未来を創るのは、好奇心いっぱいに挑戦し続ける若者たちです。Physical AIにチャレンジして、思いきり素敵な未来を描いてほしいと思います。」

